

〈公立学校教員長期研修制度〉



令和3年度（2021年度）北海道立特別支援教育センター 長期研修生の取組 夕張市立夕張中学校教諭 松 島 あすか

はじめに

「公立学校教員長期研修制度」は、北海道の児童生徒の学力向上や特別支援教育の充実を図るために、公立の小学校、中学校及び特別支援学校等に勤務する教員を道内の研修機関等において研究員等として長期間集中して研修する機会を設け、確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や学校における指導的役割を果たしうる教員の養成を図ることを目的とした制度です。

令和3年度、本制度を活用し、一年間道立特別支援教育センターで長期研修生として取り組んだ活動について御紹介します。

1 長期研修生としての活動の概要

(1) 活動の概要

4月に1年間の長期研修のテーマを「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒理解と支援について」と決め、そのテーマに迫るべく活動する内容として、「研修」と「研究」の2つに取り組みしました。

(2) 研修

北海道立特別支援教育センター（以下、特セン）で実施される教職員向けの研修講座には全て参加することができます。加えて、特セン所員の専門性向上のための「所員研修」への参加や「来所教育相談」の見学、「巡回教育相談」への同行など、豊富な学びの機会から選択して参加しました。

(3) 研究

「全教職員が、特別支援教育を自分ごととして捉え、主体的に自身の実践に生かそうとする意欲を喚起する研修を設定することにより、全校的な特別支援教育の推進を図る」を研究テーマとし、文献研究や、夕張市の小・中・高等学校特別支援教育コーディネーターとの研究協議を実施するとともに、所属校における校内研修の実践などの事例研究に取り組みしました。

2 長期研修での研修成果について

コロナ禍ではありましたが、リモートで多くの研修講座に参加したり、協議会や所属校との打合せを実施したりできたので、1年間とても充実していました。研修会等で異なる学校種や地域の先生方と交流した経験は、所属校の課題だけでなく、全道的、全国的な課題に目を向けるきっかけとなりました。また、研究を進める上で、自分がずっと課題と感じていた「特別支援教育の組織的な取組の推進」について、時間をかけて調べたり考えたりしながら解決策を見出していく過程にワクワクしました。所属校の先生方やゆうばり小学校、夕張高等学校の特別支援教育コーディネーターの先生方が熱心に研究に協力して下さり、周囲の方々の温かさや、学校現場の良さを改めて感じられたことも自分にとって良い経験となりました。

おわりに

長期研修のテーマに関わる研究報告書と、所属校で実施した校内研修をもとに作成した「校内研修モデル（仮）」が特センのWebページに掲載されています。小・中・高等学校において特別支援教育コーディネーターが講師として実施する校内研修を想定して作成しましたので、各校で活用していただけると嬉しいです。また、私のように、特別支援学校以外の教員が特センで長期研修を行った例がありません。全ての学校で特別支援教育の充実が求められている中、小・中・高等学校で中心となって特別支援教育に取り組んでいる先生方に長期研修制度を周知し、活用していただきたいと思います。